

平成 20 年度 期間展示一覧

展示名	No.1	春から始めるエコライフ	
期間	4月22日まで(前年度3月から継続)		
目的	春から始められるエコの取り組みを紹介し、実践を促す		
概要 および 結果	業者の協力によるエコ文具展や、インタプリターの持ち寄りによるエコグッズを展示した。実践したい省エネ行動を選び、CO ₂ の削減量を計算するプログラムも実施。カードは91枚集まり、全てを実施すると14,433kgのCO ₂ の削減となる。		
展示名	No.2	雑誌コーナーの設置	
期間	4月から(常設)		
目的	雑誌を通して、環境への関心を広げる		
概要 および 結果	環境関連雑誌16誌を定期購読し、来館者がいつでも館内で読めるように雑誌コーナーを設置した。事務局やインタプリターも講座等の資料として活用した。		
展示名	No.3	アースデイ in eco-T 地球へのメッセージ	
期間	4月20日から7月31日まで(イベントは4月20日)		
目的	生きものと人間の関係、地球に対して自分たちにできることについて考える		
概要 および 結果	4月20日のイベント参加者が記入した地球へのメッセージを館内に掲示した。その後、外国の学生の施設見学の際にもメッセージを記入し、掲示を行った。		
展示名	No.4	クリーンセンター新展示	
期間	4月から(常設)		
目的	eco-Tや渡刈クリーンセンターのしくみの理解を深める		
概要 および 結果	クリーンセンターの取り組みを、分かりやすく紹介するためにeco-T内、およびクリーンセンター内に新しい展示を設置した。4月26日、27日には計56名の市民に対して新展示体験会を行った。その後は、施設見学で活用した。		
展示名	No.5	新インタプリター紹介	
期間	4月27日から(常設)		
目的	インタプリターを身近に感じてもらう		
概要 および 結果	4月より新しく活動するインタプリターの紹介コーナーをつくり、掲示を行った。名前だけでなく人柄、趣味などを掲示し、来館者がインタプリターとの距離を縮めるのに役立った。		
展示名	No.6	昭和の遊びリターンズ	
期間	4月29日(1日限定)		
目的	昔の遊びを通して現代の生活を見つめ直すきっかけをつくる		
概要 および 結果	コマやメンコ、けん玉や竹馬など、昔からある遊び道具を展示室に並べ、来館者に体験した。大人からは懐かしいという声が聞かれ、昔を思い出しながら子どもと一緒に遊んでいた。		

展示名	No.7	竹の活用法を考える	
期間	4月22日から5月18日まで		
目的	竹の活用法について再考する		
概要 および 結果	昔から様々な用途に使われている竹の活用法を、実物を展示しながら紹介し、天然資源の有効活用について考えた。竹で作られた道具が、昔の暮らしを振り返るきっかけとなった。		
展示名	No.8	緑のカーテン	
期間	5月上旬から9月上旬まで		
目的	緑のカーテンの取り組み紹介		
概要 および 結果	3F 屋上緑化のスペースを活用し、ゴーヤとササゲの緑のカーテンを設置し、来館者に緑のカーテンの取り組みを紹介した。家庭で取り組んでみたいという声が聞かれた。		
展示名	No.9	マイバッグ展&渡刈クリーンセンター写真展	
期間	6月3日から6月下旬まで		
目的	1周年イベントで募集した作品を展示し、集客につなげる		
概要 および 結果	1周年イベントで募集したイラストを描いたマイバッグと写真を2F 展示通路などに展示した。本人や友人の作品を見に来る方がいた。		
展示名	No.10	七夕 in eco-T&エコ川柳	
期間	6月下旬から7月上旬まで		
目的	自分にできるエコや地球の将来を考える		
概要 および 結果	再生紙や FSC 紙などでつくった短冊に未来への願いやエコ宣言を書き、竹に飾り付けをした。1,000 枚を超える短冊が集まった。裏紙、容器包装を使った七夕飾りも竹に飾った。また、エコ川柳を来館者から募集し、展示室などで展示を行った。優秀作品には記念品を贈呈した。		
展示名	No.11	釣って eco-T	
期間	7月19日から7月21日まで		
目的	容器包装について考える		
概要 および 結果	プラスチックなどの容器包装を使って海の生きものを手づくりし、釣りゲームを行った。現代社会においていかに容器包装が多く使われているか再認識した。		
展示名	No.12	エコ読キャンペーンの紹介	
期間	7月上旬から12月下旬まで		
目的	エコライフへの関心を深める		
概要 および 結果	チームマイナス 6%がすすめる「エコ読キャンペーン」に関連してエコについて書かれた本を紹介した。普段読まない本を手にとって見るなど、環境問題を意識するきっかけとなった。		

展示名	No.13	自由研究相談コーナー	
期間	8月5日から8月10日まで		
目的	自由研究のアドバイスをを行い、夏休みの集客につなげる		
概要 および 結果	2F 休憩コーナーに自由研究相談コーナーを設け、「ごみ」「地球温暖化」「食」のテーマについてインタープリターが自由研究のアドバイスをを行った。期間中、13人の小学生から相談を受けた。ごみに関する相談が多かった。		
展示名	No.14	Tシャツアート展	
期間	8月16日から8月24日まで		
目的	エコをオシャレに伝え、若者の来館を促す		
概要 および 結果	JMAA(ジャイラ・メディアアート・アクト)の協力でエコTシャツを展示室にて展示した。8月23日、24日にはワークショップを実施し、チャリティーのTシャツやマイバッグにイラストを描いた。		
展示名	No.15	実践！3R(3R推進月間展示)	
期間	10月1日から10月31日まで		
目的	3Rの取り組みを紹介し、実践を促す		
概要 および 結果	リデュースやリユースに取り組めるエコグッズの紹介や、リデュースの実践事例を紹介した冊子の配布を行い、クイズやカルタを使って「3R」という言葉への理解を深めた。また、毎週土日に展示室にて、はぎれコースターづくりとふるしきの包み方講座を実施した。		
展示名	No.16	地球温暖化防止月間 特別プログラム	
期間	12月2日から12月27日まで		
目的	地球温暖化防止のために自分にできることについて考える		
概要 および 結果	eco-T 入り口に温暖化に関連する写真のタペストリーを展示し、地球温暖化を防ぐための方法を考えるきっかけとして、食材の旬について考えるゲームや、公共交通利用について考えるゲームを実施した。この他にストップおんだん館からレンタルしたプログラムも実施した。中学校から問い合わせがあり、総合学習での来館につながった。		
展示名	No.17	クリスマス展示・クラフト	
期間	12月上旬から12月23日まで		
目的	来館者にeco-Tの展示づくりに参加してもらう		
概要 および 結果	あったかエコ冬フェスタに向けて、展示室で牛乳パックのとうろづくりを行い、館内に展示した。つくったとうろは、冬フェスタのキャンドルナイトイベントで活用した。また、2FではP&Pによるエコ川柳の作品を展示した。		

展示名	No.18	くるっと文庫
期間	1月上旬から(常設)	
目的	本のリユース促進を図る	
概要 および 結果	1F事務所近くにパンフレットスタンドを設置し、読み終えた本を持ち寄り、読みたい人にもらってもらう「くるっと文庫」コーナーを設置した。	
展示名	No.19	EXPO エコマネー発行機
期間	1月上旬から(常設)	
目的	環境学習や環境行動の促進	
概要 および 結果	展示室に EXPO エコマネーの発行端末を設置し、来館ポイントを発行できるようにした。施設利用や講座の受講に応じてポイントを発行した。	
展示名	No.20	エコカルタ
期間	1月6日から1月31日まで	
目的	カルタ遊びを通してエコライフへの関心を高める	
概要 および 結果	地球温暖化カルタや環境カルタなど、エコライフに関する様々なカルタを準備し、体験を行った。	
展示名	No.21	心はホット、かしこく省エネ!(省エネ月間展示)
期間	2月1日から2月28日まで	
目的	省エネへの関心を高め実践を促す	
概要 および 結果	省エネタイプの電球の展示や家庭で実践している省エネの取り組み紹介を行い、省エネへの関心を高めた。来館者が取り組んでいる省エネを記入する「省エネの葉」の展示を行い、144枚集まった。また、とよたエコライフ倶楽部省エネ共和国が2Fに省エネ展示コーナーを設置し、省エネ行動の啓発を行った。	
展示名	No.22	CO ₂ 削減に関する展示
期間	2月上旬から(常設)	
目的	CO ₂ の削減量の意識啓発を行う	
概要 および 結果	市が作成した温暖化防止行動を促進する為のポスターを館内に掲示した。省エネ行動によるCO ₂ の削減量を表示したシールを館内に掲示し、意識啓発を行った。	
展示名	No.23	こどもエコクラブ活動紹介
期間	2月上旬から3月下旬まで	
目的	こどもエコクラブの活動に関心を持ってもらう	
概要 および 結果	こどもエコクラブに参加している学校や団体の活動をまとめたポスターを2Fで展示した。施設見学者や講座受講者などにこどもエコクラブの活動を周知できた。	

